



こわしみず 古和清水

鶴岡市湯温海



〔管理者〕あつみ観光協会 〔保全団体〕温海嶽の会、あつみ観光協会

ポイント

古和清水は、「やまがた百名山」の一つである温海岳の登山道途中にある。登山道脇から豊富に出ている水は、この水場より50mほど上部の山の斜面から湧き出ており、そこから下に流れ落ちている。温海岳のトレッキングには欠かすことの出来ない水であり、更に登山道を進むと山頂までには、見応えのある三つの滝や美しいブナ林を見ることが出来る癒しの空間がある。

温海岳は平安初期に羽黒山開基の黒珍が熊野権現を勧請し、人々の信仰を集める修験の山になったとされる。また、あつみ温泉は古くからの伝説として、傷ついた一羽の鶴が湧き出る湯で傷を癒しているのを発見したことに始まるとされており、川底より湧き出した温泉が海に流出したことから「温海」の名が生まれた。

アクセス

(北緯38.619457°、東経139.620159°)

鶴岡市温海庁舎から県道44号線を南東に1km程進み、消防署温海分署がある交差点を左折して温海温泉方面に進む。1.6km程温泉街を進むと、温海岳登山入口の標識があり、そこから1km程進んだ場所にある。



温海岳入口



温海温泉

